

西洋美術史ゼミ

第二回 原始美術と古代オリエント美術

発表者 あまずん

発表者について

あまずん

Twitter : @quii_w (メイン)

@amazuunsc (サブ)

理系の大学生 (数学専攻) をやっています。

近代以降の美術史や思想史、現代美術について
興味があります。



前回の内容

- イントロダクション
- 講義についての説明
- 美術とは？

本日の内容

- 原始美術
- 古代メソポタミア美術
- エジプト美術

以上の事柄について、時代背景→美術の順番で説明を行います。

全体についての概略



- 美術の主な潮流はヨーロッパを中心に展開していきませんが、今回はその前段階として、儀式・呪術的な意味合いの強い、素朴な人間の営みの産物としての芸術作品について説明していきます。
- アカデミズムとは離れた文脈にあるため、宗教との結びつきが強いのが特徴です。そのため、美術として語られるというよりも、文化史の一部として扱われるものが多いです。博物館に行く時の楽しみを増やせれば、と思います。

当時の情勢について：先史

年代	時代	概要
700万年前	人類の誕生	アフリカで誕生。猿人、原人、旧人、新人が登場し、新人は現生人類に属する。二足歩行し、言語、火を使い始め、道具を製作しだした。
3万年前	旧石器時代	洞穴に住み、いくつかの家族が集まった群れ（ホルド）を作っていた。
1万年前	中石器時代	氷河期の終了、温暖化。小動物が多くなり、弓矢が普及した。
8000年前～	新石器時代	狩猟・採集から農耕・牧畜へ。灌漑農業の開始により都市国家が成立し、四大文明が形成された。今回扱うのはそのうちメソポタミア文明とエジプト文明。青銅器、文字、階級が生まれた。

原始美術（1）

- 旧・中石器時代の美術品は以下のようなものがある。
 1. 洞窟絵画
 2. 岩陰彫刻（岩の壁面に作られた絵画や彫刻）
 3. 丸彫彫刻（仏像のように周囲がすべて彫られた彫刻）
 4. 刻線画（岩や壁面に意匠、文字が刻まれた彫刻。）
- 現実のものを造形的に再現するものであり、呪術的な要素が強い。連続的な継承と蓄積を重ねるものではなかった。

原始美術（2）

洞窟絵画の例



[この写真](#)の作成者 不明な作成者は [CC BY-SA](#) のライセンスを許諾されています

岩陰彫刻の例



[この写真](#)の作成者 不明な作成者は [CC BY-SA](#) のライセンスを許諾されています

原始美術（3）

丸彫彫刻の例



[この写真](#)の作成者 不明な作成者は [CC BY-SA](#) のライセンスを許諾されています

刻線画の例



[この写真](#)の作成者 不明な作成者は [CC BY-SA](#) のライセンスを許諾されています

原始美術（４）

- 新石器時代に農耕・牧畜が始まり、新しい文化が現れた。
- 石斧、石臼などの**磨製石器**が製作された。
- 穀物の貯蔵に土器が作られ、彩色された**彩文土器**が作られた。



この写真の作成者 不明な作成者は [CC BY-NC-ND](#) のライセンスを許諾されています

当時の情勢について：オリエント

●オリエントとは？

- 「太陽の昇るところ」を意味するラテン語が由来。
- 今日「中東」と呼ばれるところを指す。
- 雨が少なく高温で、オアシス農業が営まれた。
- 王が神or神の代理者として統治する**神権政治**が行われた。
- **実用的な文化**が発達したが、合理的・学問的な文化は生まれなかった。



[この写真](#)の作成者 不明な作成者は [CC BY-SA](#) のライセンスを許諾されています

当時の情勢について：メソポタミア

- BC3000頃、**シュメール人**がメソポタミアに都市国家を作った。
- 灌漑農業が行われており、**楔形文字**が使われた。「ギルガメシュ叙事詩」が作られたのはこの頃。
- BC2000頃、アムル人はメソポタミアに侵入し、**バビロン第一王朝**（古バビロニア王国）を樹立。ハンムラビ王が支配。
- BC1700頃に**ヒッタイト人**がバビロン第一王朝を滅ぼす。
- 馬、戦車、鉄製武器を使用した。
- BC1000頃、「海の民」（混成移民集団）によりヒッタイト滅亡。

当時の情勢について：オリエント統一

- 前7世紀前半に**アッシリア**が最初に**オリエントを統一**。
- アッシリアが滅んだあと、4つの国が分立。
- 4つの国とはメディア、新バビロニア、エジプト、リディアである。
- メディアの支配下にあったペルシア（イラン）人がメディアを滅ぼし自立。その後他の国を征服し**全オリエントを統一**。これを**ペルシア王国アケメネス朝**という。
- ペルシア語、アラム語を公用語とし、楔形文字を表音化したペルシア文字を使用。また、ゾロアスター教（拝火教）を奨励。

メソポタミア美術（1）

●シュメール美術

- 聖職者を中心とする**支配者階級の美術**である。
- 前述した彩色土器や頭部像、神殿、礼拝者像などが作られた。卓抜な構成力と精巧な技術が認められる。



この写真の作成者 不明な作成者は [CC BY-SA](#) のライセンスを許諾されています



この写真の作成者 不明な作成者は [CC BY-SA](#) のライセンスを許諾されています



この写真の作成者 不明な作成者は [CC BY-SA](#) のライセンスを許諾されています

メソポタミア美術（2）

- アッシリア美術
- **浮彫**が特徴的で、叙述性と形象表現に優れる。
- アカイメネス朝ペルシア美術
- オリエント各地の美術を統合した**総合的美術様式**を確立した。支配階級の趣味に合致した世俗的なものであった。



この写真の作成者 不明な作成者は [CC BY](#) のライセンスを許諾されています



当時の情勢について：エジプト（1）

- ナイル川周辺でエジプト文明が発展。
- 王は**ファラオ**とよばれ、神として人々を支配した。
- **死後の世界**を信じ、ミイラや「死者の書」を作った。
- **ヒエログリフ**を使い、それを簡略化した文字も生まれた。
- ナイル川の定期的な氾濫のために、**太陽暦**、**測地術**が発展した。

当時の情勢について：エジプト（2）

- 古王国時代（前27～22世紀）：ピラミッドの建設。
- 中王国時代（前21～18世紀）：混乱からエジプト再統一。
- 新王国時代（前16～11世紀）：エジプト美術の最盛期。
一神教を強制する宗教改革が行われた。



エジプト美術（1）

- 古王国時代（BC2686～BC2181）
- ファラオの神権的権力が確立し、中央集権が進んだ。
- 建築においては**ピラミッド**が建立され、葬祭殿を始めとする宗教建築も発展した。
- 幅広い表現力を有し、**緻密な写実と理想化**を追求した。



[この写真](#)の作成者 不明な作成者は [CC BY](#) のライセンスを許諾されています

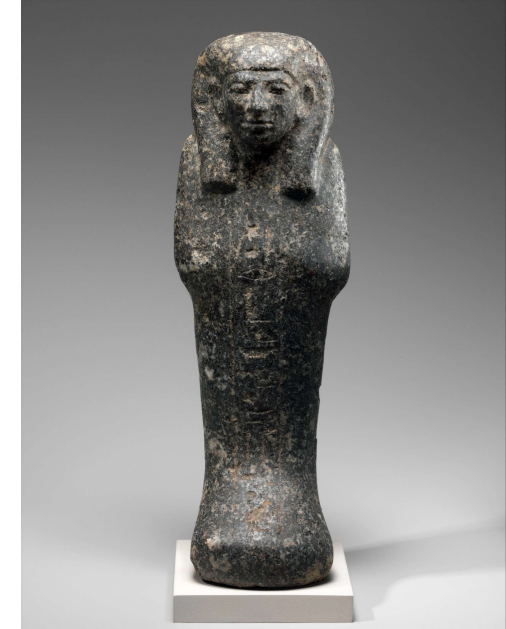


エジプト美術（2）

- 中王国時代（BC2050～BC1786）
- 巨大ピラミッドは建設されなくなったが、**独創的な葬祭殿**や**神殿**が造営され、オシリス柱やハトホル柱などの意匠も出現。
- **写実的な新様式**が生まれ、古王国時代以来の理想主義と二大潮流を形成する。
- 大型の石像彫刻はなくなり、木製の小像が増える。

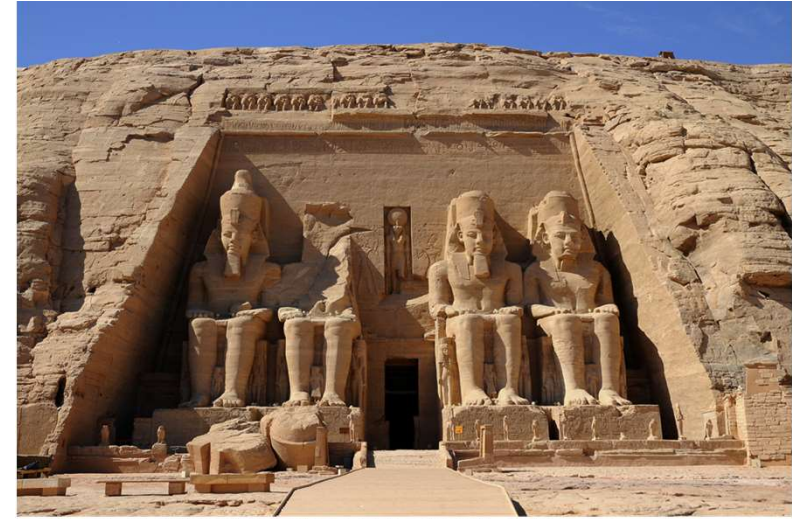


この写真の作成者 不明な作成者は [CC BY-SA](https://creativecommons.org/licenses/by-sa/4.0/) のライセンスを許諾されています



エジプト美術（3）

- 新王国時代（BC1786～BC1567）
- エジプト美術の最盛期。
- 都のテーベを中心に**大造営事業**が推進された。
- オベリスクと王像もかつてない大きさを誇る。
- 中王国時代の二潮流に加え、**優美な装飾性**と**豪華な色彩主義**が加えられた。
- 浮彫と絵画では理想化が進む。



この写真の作成者 不明な作成者は [CC BY-NC](#) のライセンスを許諾されています



この写真の作成者 不明な作成者は [CC BY-SA](#) のライセンスを許諾されています

エジプト美術（4）

- アマルナ美術（BC1417～1362）
- アメンホテプ4世が宗教改革を行い、**唯一神アテンへの信仰**が行われた。
- これに伴い、**写実主義・自然主義的傾向**が顕著となった。
- アメンホテプ4世の死とともに終結するが、後の時代に影響を及ぼし、「ツタンカーメンの黄金のマスク」などに名残が見られる。
- これ以降は大きな展開はなかった。



次回の内容

- ギリシア美術とローマ美術
西洋美術の原点である、紀元前のギリシア美術とローマ美術について見ていきます。

- 関連するワード：

1. アルカイックスマイル
2. ミロのヴィーナス



Livioandronico2013 - 投稿者自身による作品, CC 表示-継承 4.0,
<https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=54858474>による